



# つがる市議会だより

## 12月定例会 の内容をお伝えします

定例会の概要	2	予算特別委員会の審査	7
一般質問	3~6	行政視察報告	8~9
議会改革レポート	6	「クールつがる」・議会の動き	10

第51号 平成29年2月発行



つがる市消防署の職員は現在45名。消火隊、救急隊、救助隊で構成されており、2交代で勤務にあたっています。写真は勤務交代後のワンショット。

市民の生命・財産を守るため、厳しい寒さ、暑さの中も、昼夜を問わず頑張る職員のみなさんは使命感に満ちています。

# つがる市議会12月定例会

会期14日間 平成28年12月1日～12月14日

## 【今定例会の議案】

市長提出議案・・・19件（追加議案2件を含む）  
議員提出議案・・・2件（意見書）  
請願・・・1件（6ページ参照）  
陳情・・・2件  
計 24 件

※各議案を原案のとおり可決・採択しました。また、請願は継続審査となりました。  
全ての議案名は市のホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせください。

議案の中から2件をピックアップ。  
その内容をお伝えします。

議案第78号 平成28年度つがる市一般会計補正予算（第4号）  
介護保険費 介護ロボット等導入支援特別事業費補助金

## 1 特別養護老人ホームなどに 介護ロボットが導入されます

主に、介護従事者の腰をサポートする機器や見守りのシステムが導入されます。  
国の「介護離職ゼロ」に向けた施策の一環で、介護する人の負担の軽減につなげるのがねらいです。この事業に対する補助金は、国から10割が交付されます。

### 主な質問

問 介護現場は病院、施設などいろいろだが、配置先はどこになるのか。

答 今回はグループホーム、特別養護老人ホームなどの7事業所に配置する。1事業所当たり92万7000円の補助となる。

議案第88号 つがる市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

## 2 非常勤の特別職に、鳥獣被害対策実施隊および在宅医療・介護連携推進会議委員を加え、それぞれの業務の充実を図ります

鳥獣被害対策実施隊は、拡大している有害鳥獣による農作物被害を抑制するため組織され、有害鳥獣の捕獲および処理を行います。一方、在宅医療・介護連携推進会議委員は、高齢者が医療や介護が必要となっても可能な限り自宅で安心して生活できるように、その計画づくりや運用を連携して推進するものです。

### 主な質問

問 鳥獣被害対策実施隊の構成員は。

答 市長が任命する市役所職員および猟友会員、並びにシルバー人材センター会員で、計27人となる。

問 業務内容は。

答 鳥獣が入っていないカラの罠を、見回り兼ねて回収する。被害が予想されるスイカ等の最盛期は、巡回および追い払いをする。また、有害鳥獣が入った罠は、従来どおりシルバー人材センターが獣医師に持ち込み、鳥獣は殺処分となる。市職員とシルバー人材センターに、市からの報酬の支払いはなく、猟友会にのみ支払われる。

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



成田 克子  
芳政会

● 障がい者スポーツの普及と環境の充実を  
● 障害者優先調達推進法における本市の  
取り組みは

**問** リオ五輪・パラリンピックで障がい者スポーツが再注目されたことは記憶に新しい。県内でも第24回障害者スポーツ大会が開催され、つがる市からも25名が出場しているが、市内のトレーニング場や指導者など、本市の障がい者スポーツを取り巻く環境はどのような状況か。

**答** 現在、市が関係するものとして、主に社会参加の促進を目的としたリハビリやレクリエーション的に行われているものとなっております。障がい者専用のスポーツトレーニング場はなく、既存の体育館などを使用しており、また、障がい者の競技スポーツを対象とした指導員はいない状況です。支援策として行っているのは、各種大会等の情報提供、大会のための施設の提供などです。ほかに、団体の要請に応じる形で支援に取り組んでいます。競技スポーツの普及についてはこれまで要請がなかったため対応はありませんでしたが、今後支援要請があった場合には、関係部に指示し出来る限りの支援をしたいと思えます。

**問** 授与してはどうか。

**答** 市では、健常者・障がい者の区別なく、県大会での優勝やそれ以上の大会で優秀な成績をおさめた場合に授与しております。障がい者スポーツの振興のためにも、ご提案の奨励等について、今後検討してまいります。

**問** 障がい者の自立を促す経済的基盤の充実には、障害者就労施設の仕事の確保が重要である。このことから、障害者優先調達推進法の下、自治体には、障害者就労施設からの物品調達の拡大が求められている。本市の取組み状況はどうか。

**答** 市では、市内障害者就労施設からの物品調達方針を定めており、周知のため毎年5月に庁内各課に通知しております。実績は、平成26年度が、障害福祉計画の印刷発注により34万5000円、27年度は11万8000円です。印刷のほかに、クリーニングの発注や事務用品購入等となっております。

**問** 本市の6次産業化の取り組みの現状は。

**答** 平成26年度から「つがる市食産業ネットワーク未来プロジェクト事業」を実施しており、人材育成研修会や商品開発、販売会、商談会などのサポート活動ほかを行っております。

**問** 「未来プロジェクト事業」が3年経過し商売として成立しているものは何か。

**答** 黒ニンニクで3千万円ほどの販売額に達しているケースがあります。自宅に加工場を設け3人を雇用し、今後販路拡大も目指していると考えております。

**問** 議員で構成する農業活性化特別委員会の提言のひとつでもある「市で大きい加工場を作ってはどうか。それでコストを削減しつつ、個々の農家の規格外農産物に付加価値を付けた加工品を作って販売し、農家所得向上につなげることはできないか。」

**答** 6次産業化の推進は今後も実施してまいります。各地区の加工場の利用者の意見を聞きながら6次



長谷川 榮子  
無所属

● 6次産業化を支援し農家所得の向上を  
● 円形劇場の活用を

産業化に特化した拠点施設の整備を検討してまいります。

**問** 行政視察で研修してきた町（栃木県）が加工場を建設し、特産物の柚子やエゴマの加工品、米粉のバウムクーヘンの製造販売で売り上げを伸ばし、町民100人の雇用を生んでいる。本市職員を視察させてはどうか。

**答** 成果を上げている例を実際に見聞させ、勉強させたいと思えます。

**問** 地球村円形劇場の本年度の活用はなかつたとのことだが、学校等には呼びかけたものか。例えばメロン・スイカフェスティバルにぶつけて森田小学校の吹奏楽を円形劇場で演奏するなど、工夫次第でできたのではないか。

**答** 昨年の、円形劇場活用についてのご提案後、演奏会について高校に問い合わせましたが、翌年度の日程等の決定後であったため調整がつかせませんでした。今回のご提案についてもメロン・スイカフェスティバル実行委員会と協議し、実施について検討してまいります。



**問** 市のスポーツ賞を、障がい者のスポーツ大会に出場した方にも

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



田中 透  
五和会

- ふるさと納税制度が一層活用されるよう工夫を
- 消防団員の処遇改善を
- 共通商品券の取り組みについて

**問** ふるさと納税による寄付金は、農業の振興、子育て支援など5分野へ活用されていると伺った。一層の活用と申し込みを促すため、次の点について問う。①ふるさと納税の還元率を5割程度に上げ農家所得に寄与できないか。②市を訪問する機会を与えるようなパックを作り同封するなど、効果的な発信のために工夫できないか。

**答** ①について 還元率を上げるということの課題として、仮に返礼品の希望がメロンに集中した場合、供給の問題で対応が無理になってくることが考えられます。体制の確保も見極めながら検討し、農家の所得向上に寄与していきたいと思えます。②について 現在、メロンやりんごの収穫体験ツアーも返礼品として組み入れています。さらにご提案の無料入浴券、宿泊券、定期観光バスツアーなども絡めてPRしていきたいと思えます。

**問** 消防団員の減少が進む中、本市は県内で4番目に多く確保しているとのことだが、団員数維持のためにも処遇の改善が重要であると考え。市の考えをお知らせ願う。

**答** 処遇については十分に配慮、改善をしていく必要があると認識

しており、特に安全確保のための装備の充実が重要と考えております。また、報酬や出勤時の費用弁償なども、近隣市町並みの改善が必要であると考えますが、財政負担を伴った計画的に対応してまいりたいと思えます。

**問** 共通商品券は、市民が生活防衛手段として毎回その販売を待っている。また、消費・販売環境の活性化を促し、市内事業者の経営にも寄与するものと考え。新年度はいち早く金額を打ち出してPRできないものか。

**答** 市民の期待が高くなっていることとは承知しております。市では販売額の10%、1000万円を市民に還元しております。29年度の金額についても、財政部と協議し、前向きに検討してまいります。



齊藤 渡  
無所属

- 稲わらの熱利用を基にした地域循環システムの構築を目指すべきでは

**問** 水田地帯であるつがる市では稲わらの処理は永遠のテーマと言える。稲わらの利活用について次の2点を問う。①飼料用米の耕畜連携分の稲わら収集面積は。②収集に伴う補助金の総額は。(共に前年度比で)

**答** ①について 耕畜連携分で911万4003㎡、前年度比101%です。②について 1億1836万6300円、前年度比101%となっており。

**問** 北海道南幌町では、稲わらを地元企業が燃料に加工することで雇用を生み、加工した燃料を地元の公共施設で利用し恩恵を地域住民が享受するというサイクルが完成されており、地域の資源を地域で加工・利用することにより「モノ」と「カネ」が地域内で循環するシステムが構築されている。「雇用の創出」は「若者の定住化」を促すものであり、地域活性化における車の両輪のようなものである。今後の当市の人口維持と発展にとり不可欠な要素だが、このような事例運用の可能性はどうか。

**答** 本市においては、稲わらの焼却防止の観点から圃場へのすき込みや畜産飼料等、有効活用を推進しております。新たな有効活用が可能

であれば先進地事例等を確認しながら取り組んでいきたいと考えております。

**問** 国の補助金政策が実施されているうちに、次なる対策を講じておくべきではないかと考える。稲わら収集の今後の見通しに関して市としての見解を伺う。①仮に飼料用米および耕畜連携による稲わら収集への補助金が減額された場合、現在の収集状況を維持できると考えるか。②減額および廃止によって焼却処理が再び増えることが危惧されないか。

**答** ①について 畜産農家は飼養頭数を確保するために、飼料用米、主食用米にとられず収集すると考えられます。しかし、販売を目的とする収集業者は減額で面積を縮小すると思われ。②について 稲作農家が何らかの形で収集業者へ委託しているケースでは、委託が難しくなり焼却処理面積が増加すると考えられます。



# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



三上 洋  
芳政会

● 障害者差別解消法の周知を

**問** 障害者差別解消法が平成28年4月1日に施行されたが、この法による市の対応について、次の3点を伺う。①対応要領はできているか。②事業者向けの指針はできているか。③各関係機関への周知はしているか。

**答** ①について「障害を理由とする差別を解消するためのつがる市職員対応要領」を9月に策定。10月1日より施行し、全部局に通知しております。今後、制度の普及や啓蒙のため職員研修を予定しております。②について、各事業所を所管する国の省庁が作成している対応指針に基づき、事業者が自主的に障がい者の差別解消に向けて取り組むことになっております。③について市のホームページなどを活用し、制度内容の普及に努めてまいります。

**問** 市役所内には、手話、点字などのできる職員はいるのか。

**答** 手話通訳者は市役所福祉課に1名常勤で配置しております。その他、通訳登録者が8名おり対応しています。主な利用機会としては、病院や官公庁での意思疎通などで、27年度は229件の利用でした。目に障がいを持つ方へのサービス事業としては、市の広報紙と議会だよりを読み上げ録音したものを配付して

おり、3名が利用されております。

**問** 障がいを持つ方の目線に立ち理解を深めるために、障害者施設で研修することが有効と考える。職員を派遣してはどうか。

**答** 職員研修の担当課と協議し検討していきたいと思えます。

**問** 小中学生への周知、指導についてはどのように考えているものか。

**答** 教職員に対しては、今回の施行にあたり、昨年の学校計画訪問で、周知を徹底しております。また、児童生徒には、今回の法律施行にかかわらず、常日頃から道徳教育を通じて親切、思いやり、感謝、友情、信頼、いのちの尊さなどを、自己の生き方について深める学習で指導しております。



松橋 勝利  
無所属

● 農業振興のために野菜の種苗購入への助成を  
● 人口減少対策の一層の充実を

**問** 基幹産業が農業である本市において農家が元気でなければ市全体も豊かになりえないと考える。農家所得向上のために野菜種苗の助成制度を設けてもらいたいと思うがどうか。

**答** 野菜の種苗購入に係る助成制度は現在JAで一定の要件を満たしたものに對して行っております。支援制度の創設を国、県に對して強く要望するとともに、市単独での補助も検討していきたいと考えております。

**問** 種苗購入の助成について農業委員会長の見解はどうか。

**答** 本市の農業は、土地利用型の大規模農家と小規模農家の複合経営、この二極化が必要かと考えます。このためには一層のブランド化を進め、市場原理に左右されない高値で取引できる農家を育てていくべきであり、その意味において種苗費助成は大変有効な手段になり得るのではないかと考えております。

**問** 10年後の本市の人口規模は。また、新たな対策をどう考えているか。

**答** 10年後は2万9565人と推計されます。対策として、課題である農業振興を図るため、高付加価

値化や6次産業化、新規就農者の確保に努めることなどが挙げられます。結婚、子育て部分では、子ども医療費助成、保育園・幼稚園の第2子無料化ほか、従前からの手厚い施策の継続に努めるとともに、出会いの場の創出など各施策を検証・評価しながら、着実に実行していくことが責務と考えております。

**問** 種々の人口減少対策を実施する中で、例えば種苗購入費の助成をしたからといって簡単に人口増に結びつくものではないが、基幹産業が農業である本市には、どこよりも農家のために力を注ぐという発想で臨んでほしいと考えるがどうか。

**答** 本市の人口減少対策は、国全体に2万6千人規模の人口を確保すれば一自治体として市民のくらしが成り立つということを設定しており、人口増加ではなく減少を緩やかに進めるといふ計画です。ご発言もされておりますが、農業問題もさることながら全ての分野について真剣に議論していく必要があると考えています。

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



伊藤 良二  
無所属

● 市立図書館の一層の充実を  
● 総合体育館建設に伴う財政計画は

**問** 市立図書館は学生をはじめ、市民に大変喜ばれているが、一層の活用のために次の点について伺う。

① 図書館運営審議会を発足させる考えはないか。② 本の発注を地元にもできないか。

**答** ①について 図書館条例では、図書館法に基づく図書館協議会を置くことにしています。委員定数は15人以内、任期は2年と定めており、図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館方針につき館長に対し意見を述べる機関となっております。図書館満足度調査の集計分析が間もなくまとまることから、12月中の開催に向け準備を進めております。②について 汚れを防ぐためのフィルムコーティング、盗難防止などのためのICタグ、図書館情報であるTRCマークを装備した状態で納入いただくのであれば可能です。尚、雑誌等の発注については地元の書店を活用させていただいております。

**問** 旧木造中央公民館講堂解体について進捗状況を伺う。また、移築場所について進展はあるのか。

**答** 解体保存工事の設計を終えたことから、入札に向け準備を進めたいと考えております。講堂の意匠が、バロックやアールデコなど多様な様式が混じったものであり、県内には類似のない、昭和初期の貴重な建築物です。市民に見ていただきたいと考えていることから、議会とも協議しつつ最適な場所を決めたいと思っております。

**問** 新総合体育館の建設について、現状では39億円を見込み、学校施設環境改善交付金事業(床面積の3分の1の補助)の活用で実施したいとのことだが、現在進んでいる最終処分場整備と重なる時期が出てくる。財政的な計画を伺いたい。

**答** 中期および長期的な財政運営計画について、事業を各年度に貼り付け財政状況をシミュレーションしてあり、それによると総合体育館と一般廃棄物処分場の整備が4年間重複する期間があります。一時的に実質公債費比率や将来負担比率が高くなると予測されますが、いずれも安全圏内で推移していくと見込まれております。



## 指定管理者一覧 (議案90号~92号)

管理を行わせる施設名	指定管理者となる団体名
つがる市稲垣野菜育苗センターA棟、つがる市稲垣野菜育苗センターB棟、つがる市稲垣野菜育苗センターC棟、つがる市稲垣花き育苗センター、つがる市稲垣ライスセンター、つがる市稲垣カントリーエレベーター	つがるにしきた農業協同組合
つがる市ふるさと創生物産広場、つがる市柏農産物加工技術開発センター	じよつぱりの里合同会社
つがる市木造農産物加工センター	公益社団法人つがる市シルバー人材センター
<b>指定管理期間</b>	
上段の各施設	H29. 4. 1 ~ H34. 3. 31
中・下段の各施設	H29. 4. 1 ~ H32. 3. 31

## 請願 請願第2号

■ 林集落内の排水路の整備に関する請願書  
 請願人 林自治会会長 竹内 雅彦  
 議決結果 継続審査 (測量並びに関係機関との協議が必要であり、継続して審査すべきとの見解から)

## 議会改革レポート

### ネット配信いよいよ始まる

これまでの議会だよりでもお伝えしてまいりましたが、次回3月定例会から、ライブ映像・録画映像のインターネット配信が開始され、ご自宅のパソコン等での視聴が可能になります。

配信されるのは、議場で開催される会議(一般質問、予算・決算特別委員会等)です。

また、市役所1階ロビーのテレビでもライブ中継を視聴できます。

パソコンからのライブ中継へのアクセスは、3月定例会開会日から可能となります。



## 予算特別委員会

### 補正予算の審査状況をお伝えします



委員長  
成田 克子

予算特別委員会に付託された補正予算案に対する主な質問（要約）は次のとおりです。

#### 議案第78号

平成28年度つがる市一般会計補正予算（第4号）

**問** 松橋 勝利 委員

障害者福祉費の扶助費増額は、医療費等が増えたことによる追加計上とのことだが、その詳細を伺いたい。

**答**

助成対象者に人工透析患者が増えているほか、障害児の施設利用や障害者のグループホームの利用が増加していることが要因となっている。

**問**

長谷川 榮子 委員

衣類リサイクルボックス購入費が計上されているが、設置場所は主婦が買い物ついでに立ち寄れる場所か。できれば各地区に1カ所ずつあれば効果的なのではないか。また、事業の目的を達成するためにも、広報で趣旨等をもっと周知してはどうか。

**答**

イオンショッピングセンター内に設置し、効

果を見ながら増やしていきたい。市立図書館にも打診しており、契約が整えば設置したい。また、趣旨等も含め広報していく。

**問**

木村 良博 委員

史跡田小屋野貝塚と亀ヶ岡石器時代遺跡のこれまでの公有化面積は。また、田小屋野から出土した人骨はその後どのようになっているか。

**答**

田小屋野貝塚の公有化面積は、2774㎡で全体の13.8%。29年度購入予定分を合わせると1万3135㎡で79.2%になる見込み。亀ヶ岡石器時代遺跡の方は、3万1144㎡、87.1%となっている。出土した人骨については、現在、新潟医療福祉大学で保管しており、平成29年初秋に、つが

る市で公開できるよう準備を進めている。

**問**

木村 良博 委員

仮称縄文ミュージアム建設予定地区への上水道建設が、国の予算の関係で遅れていることは承知しているが、ミュージアムの着工予定については、質問の都度ずれ込んでいます。遅滞の理由を議会にも説明すべきではないか。

**答**

公有地化で建物を取り除いた部分の調査も文化庁から追加されたためにずれ込んでいます。様々な事情で現在の見直しになっているが、説明は随時行い、ご理解を得ていきたいと考えています。

**問**

佐々木 直光 委員

臨時福祉給付金について、当初の倍近くの補正額

になっている理由、受付期間、いつの所得状況を基に支給を決定しているのか、以上3点を伺いたい。

**答**

増額補正は平成29年度に1万5千円を支給する分として繰り越しされるもの。現在支給している3千円の給付金の受付期間は、28年9月11日から29年1月10日までと設定されている。この給付金は、27年度の所得を基に支給を決定している。なお、非課税の方であっても課税者の扶養になつている場合、該当しないケースもある。該当者には事前に通知し、また申請していない方には再度勧奨通知をしている。

## 常任委員会の行政視察報告

先進自治体の事例を学ぶため、各常任委員会が視察を行いました。その概要をお知らせいたします。

### 総務常任委員会

視察先：島根県雲南市・鳥取県米子市（10/25～10/27）

#### 【雲南市：Uターン受入事業およびふるさと納税について】

全国各自治体が人口減少対策に取り組んでいる中、本市でも平成28年1月「地域活力創生総合戦略」を策定し、定住促進事業等を展開している。しかし、実施状況の点検、見直し等も必要と考えられる。雲南市は、いち早く戦略策定に着手し、他と比較しても先進的なUターン受入事業を展開。移住・定住者増に結び付けている。

空き家バンク制度を確立し、支援窓口を開設し専門スタッフ5名を嘱託で配置。必要な企画・相談・サポート業務を地域自主組織、不動産業者の協力を得て、これまで817人の効果を上げている。更に、定住者が人材不足職場（介護等）に就職した場合の支援策もセットで実施している。ふるさと納税については、情報発信力を高めるためサイト運営業者に委託。委託後3カ月で前年度並みの寄付件数の実績があったとのこと。



雲南市役所

#### 【米子市：ふるさと納税および婚活事業について】

本市のふるさと納税は平成20年度から始まり、27年度では約1,600万円の実績があった。米子市では27年度で約7億3,100万円と実績を伸ばしている。取組みの特徴的なものは、金額別の記念品に合わせて、地元企業からの協賛グッズや地元で利用できるクーポン等も同封した「米子市体験パック」を送付している。また、大手百貨店の協力を得て全国の顧客への会報誌の送付、希少価値の高い地元産詰め合わせ記念品を複数回発送等で実績を伸ばしている。更に、滞在型・経験型記念品を検討している。婚活事業については、周辺自治体と広域的に連携し、単独イベントで苦慮している参加者の確保等といった問題が減少し、27年度では22組のカップル、1件の成婚に結び付いている。



米子市役所

※今回の視察のまとめ：今回視察した2自治体とも行政、自治組織、地元企業等との連携が図られており、人口減少対策に取り組んでいる当市にとっては大変参考となる内容であった。

### 教育民生常任委員会

視察先：島根県 <sup>おおだ</sup>大田市・<sup>おおなん</sup>邑南町（10/26～10/28）

#### 【大田市：大田市学校給食センターにおける地産地消の取り組みについて】

大田市では、地産地消推進のため、平成24年に市内の4つの共同調理場と4つの自校方式調理場を統一し、最大3,500食が調理可能となる大田市学校給食センターを新設した。同時に、地産地消コーディネーターを配置し専門的に取り組んだことで、地産地消率が飛躍的に向上し、県内でもトップクラスとなっている。

J A、県、市、生産者等との定期的な連絡会の開催、生産情報等の共有が、地場産品の活用へと繋がっていた。また、地場産品を積極的に使用するために、野菜の1次加工をして納入してもらうことで調理の省力化も図っている。地元の生産者等に、地産地消についてしっかりと理解を得て、協力してもらうことで、子どもたちの安全で安心な学校給食の提供ができていく。農業を基幹とする当市にとって、より一層取り組むべき課題であり、大変参考となる視察だった。



大田市学校給食センター

#### 【邑南町：「日本一の子育て村構想」について】

平成23年度、人口減少が加速し危機感を抱いた邑南町では、邑南町のおいしい食材をA級グルメとしてPRする“攻め”の「A級グルメ構想」を立ち上げるとともに、子育てにかかる負担を減らし、町全体で応援することで安心して子育てしやすい環境を整える“守り”のプロジェクトとして「日本一の子育て村」を目指す取組を始めた。医療・保育・就労といった複合的かつ分野横断的な子育て支援の取組にはメディアも注目し、全国に発信されることとなった。結果、平成27年には合計特殊出生率が2.46（全国平均1.46）となるなど、邑南町がまちづくりの理念として掲げる「持続可能なまち」へと前進している。今後は、経済的支援よりも日本一の子育て村を住民が実感できるよう「地域で子育て」を実践していくとのことであった。全体を通して、町長をはじめとした職員が町の維持に対して危機感を持っていたことから、課題や問題意識の共通認識を共有し、全庁一丸となって取り組むことができたのではと思われた。また、住民の声を聞き、住民目線で施策に取り組んでいくことの重要性も感じた視察となった。



邑南町役場

【茂木町：「道の駅もてぎ」の取り組みについて】

「道の駅もてぎ」（第3セクター、町職員が常駐し施設全体を管理）は、特産の柚子やエゴマなどを全量買い上げ、町が建設した加工場で商品化し、道の駅を中心に販売。6次産業化による持続的な地域活性化の実績で、国土交通省の全国モデル道の駅に選定されている。平成28年3月には道の駅内にバウムクーヘン工房も整備し、自前で挽いた生米粉を使ったバウムクーヘンを製造販売。オープンから7ヵ月で7,500万円を売り上げ、今後も安定した売り上げが見込まれることから、新たな製造工場の建設も決まっている。また、町民の雇用は道の駅全体で100人となっている。自前の加工場を持つことでコストをおさえながら特産物を活用し、農家所得の向上と雇用の場の確保に寄与する茂木町の事例は、6次産業化の推進を目指す本市にとり、非常に参考になる取り組みであった。



道の駅もてぎ

【渋川市：「恋活プロジェクト支援事業」について】

渋川市では平成26年度から標記の事業名で出会いの場の創出を支援している。市がイベントを主導するのではなく、1イベント当り10万円の補助金を交付しながら、イベントを主催するグループを募集。婦人会やNPO、社会福祉協議会、趣味のクラブ等、様々な団体が主催者となり、26・27年度で22回の交流イベントを実施、48組のカップルが成立している。イベント内容もバラエティに富み、毎回マスコミに取り上げられるなど、県内外に周知されるようになったとのことである。特筆すべきは、市役所若手職員有志によるプロジェクトチームを立ち上げ各イベントを支援している点。また、ホームページは、イベントの様子がわかるよう写真を使い、意識的に堅苦しくない表現を心がけるなど、参加してみたいくなるような発信をしている。結婚カップルがまだ少ないことが課題だが、婚活イベント実施方法の成功例として大変参考になる事例だった。



渋川市役所

6年生 一般質問を傍聴

平成28年12月5日、向陽小学校（校長 七戸完三郎）6年生50名は、市議会定例会一般質問を傍聴しました。

社会科校外学習の一環として実施されたもので、2班で構成された児童たちは、第1席と第2席の質問を、それぞれ真剣な面持ちで傍聴していました。児童からは「この話し合いが、よりよいつがる市をつくるために大切なことなんだなと思いました。」「内容は難しかったけど議員さんたちの討論の仕方がわかったので、とてもよかったです。」といった感想が聞かれました。



行政視察来庁

【つがる市立図書館について】

平成28年11月8日 愛知県岩倉市議会（会派）

平成28年11月16日 千葉県柏市議会（会派）



説明後、図書館内を視察

【胃がん撲滅検診事業（ピロリ菌感染検査と除菌治療）について】

平成28年10月24日 茨城県水戸市議会（会派）

平成29年1月11日 静岡県富士市議会（会派）



プロジェクターを使用し担当課より説明



# クールつがる No.13

(株)つがる女性加工 しちふくじんづけ さんの「七福神漬」

つがる市木造森内1-2 ☎42-1176

つがる市のクール(良質なモノ・頑張っているひとetc)をジャンルを問わず随時紹介してまいります。

■議会だより49号の本コーナーで紹介した「若返りソフトクリーム」のベースとなる「若返り粉」をはじめ、いなりずし、また、すしこ等の漬物でおなじみの同社。今回は知る人ぞ知る「七福神漬」を紹介します。

## 会社の理念

こだわりは地産地消と安心・安全。「消費者と生産者(農家)を思いながらの食品製造」を心がけている。

## 七福神漬の特徴と今回いち押しにした理由

7種の野菜(大根・人参・赤かぶ・ごぼう・キャベツ・きゅうり・りんご)が入っている。市販の福神漬は輸入野菜が原料。子どもたちに添加物の入らない福神漬を食べさせたいと願って製造したものであることを広く知ってほしいと願って。(県内多数の小中学校給食で提供されている。販売は青森市、五所川原市等の一部店舗となっている。)

## その他の商品

いなりずし・赤飯・おはぎ、すしこ等の漬物ほか20種類ほど。

## 今後の展望

加工場を核に、対面販売コーナーがあり、手作り体験などができる施設をあらたに建設し、雇用の場を増やせればと考えている。



◆議会に望むもの…子どもたちが農業と食について理解を深めることができ、後継者育成につながるような施設づくりが必要ではないか。10年20年先を見据えた提言を。

## 編集室から

約20年前から地元農産物の付加価値向上に寄与し、本市の6次産業化の草分けともいうべき同社。先を見据え、常に前進しようという意欲に終りはなく様子。「志を同じにする新たな出会い」が待たれます。

## これまでの議会の活動の一部を紹介します (議長・副議長・議員団)

11月4日	議会改革検討特別委員会
7日	青森県市議会議長会総会 (青森市)
9日	全国市議会議長会評議員会 (東京都)
9日~11日	経済建設常任委員会行政視察
10日	知事を囲む懇談会
17日	つがる市議会議員全員協議会
25日	議会運営委員会
26日	つがるブランド推進PR活動 (東京都町田市)
12月1日	平成28年第4回つがる市議会定例会開会、議員説明会
5日~6日	定例会一般質問
7日	予算特別委員会
9日	総務常任委員会
12日	経済建設常任委員会
14日	平成28年第4回つがる市議会定例会閉会
22日	つがる市消防署再編統合計画策定審議会
1月4日	つがる市新年祝賀会
8日	つがる市消防団出初式
22日	つがるブランドPR活動 (「つがる市ファン感謝祭」千葉県柏市)
30日	新車力小学校完成内覧会

## 議会を傍聴してみませんか

市民の皆様が選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。(手続きは不要で、傍聴当日に整理券を受け取るだけです) 議場は市役所3階です。エレベーターをご利用ください。

【次回定例会予定3月】

こちら

## 編集室

平成二十八年の十二月議会を無事終え一息ついて一年が過ぎる速さに感嘆しながら新年を迎えました。今年には十二子の中の「酉」一年であります。酉の字は酒壺を指している、また、収穫の出来実のこととあり、縁起の良い年であります。今年三月定例議会から、議会の様子をインターネットや市役所ロビーのテレビモニターを通して見られるようになります。議会改革の一環として進めてきたものであり我々議員はじめ、議会に携わる一同は一層気を引き締めております。昨年はイオン柏シヨッピングセンターに図書館が完成。利用者も多く、我々も喜んでいたりするところであり、今年も、つがる市の発展と議会の躍進、また、市民の皆様にとつて実り多き年であることを祈り申し上げておきます。(副委員長記)

## 市議会だより編集委員会

委員長	三上 洋
副委員長	平川 豊
委員	伊藤 良二
委員	佐々木 直光
委員	佐藤 孝志
委員	佐々木 敬藏
委員	田中 透